

外務・貿易省

メディア リリース

貿易協議のために日本の経済産業大臣が訪豪

2011年2月10日

2月11～12日から海江田万里 経済産業大臣がオーストラリアを訪問する。

2月11日（金）にシドニーでクレイグ・エマソン貿易大臣と海江田大臣は第2回豪日貿易・経済大臣会合を開催する予定。

海江田大臣の訪豪の発表にあたり、エマソン大臣は、「オーストラリアと日本は今週東京で FTA 交渉を再開した。金曜日の海江田大臣との会合では主に両国の FTA が焦点となる」と述べた。

「海江田大臣の訪問では、日本はオーストラリアと貿易交渉を進める上で最優先事項と位置付けていて、オーストラリアにとっても最重要課題である」と述べた。

ギラード政府は、菅政府の国内改革への取り組みや国際貿易交渉の促進へ向けた積極的な姿勢を高く評価している。

海江田大臣の訪豪は、日本政府による「包括的経済連携に関する基本方針」の発表後、昨年11月の前原 誠司外務大臣の訪豪に続くことになる。この基本方針は日豪自由貿易協定の締結に向けて更に努力する強い姿勢を示している。

また、エマソン大臣と海江田大臣は WTO 交渉を年内に締結する方策、東アジアサミットや APEC を通じて地域の経済統合を強化するための双方が一体となった取り組み、貿易と投資、特に資源、インフラの分野での貿易と投資におけるビジネス機会の向上を話し合う予定。

「2011年1月14日に海江田大臣が大臣就任後の早々の訪豪は、両国が包括的経済連携の重要性をお互いに認識していることを示している」とエマソン大臣は述べた。

また、海江田大臣は資源・エネルギー大臣・観光大臣のマーティン・ファーガソンとの会う予定。

日本はオーストラリアにとって世界で2番目に大きな貿易相手国と輸出市場であり、3番目に大きな投資国。2009/10年、日本との双方向貿易は590億豪ドルで、190億豪ドルのオーストラリア最大の貿易黒字を計上。また、2009年末の日本のオーストラリアへの海外直接投資累積は1,020億豪ドルに達した。